

令和 7 年度 建設外部評価委員会

社会資本総合整備計画

* 社会資本整備総合交付金

* 防災・安全交付金

公園部整備課



社会資本整備総合交付金

- ① 民間活力を活用した都市公園の再整備（重点）
- ② 地域ニーズに即した都市公園ストックの再編
- ③ 安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進



② 地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

- * 緑の基本計画での位置づけ
- * 整備計画の内容
- * 交付対象事業
- * 各事業の概要
- * 事業効果の発現状況、目標値の達成状況
- * 特記事項



緑の基本計画での位置づけ

① 展開されるゾーン

- ▶みどりのゾーン ～いのちをまもり育む緑～
- ▶まちのゾーン ～彩りと潤いのある緑～
- ▶田園のゾーン ～実り豊かな緑～
- ▶ゾーンのつながり ～水と緑のネットワーク～
- ▶協働と参画 ～みんなで支える緑～

緑の基本計画での位置づけ

② 施策の展開と取り組み

● まちのゾーン

方針▶緑の資産を適切に維持管理・更新し、利活用を促進することで
安全で快適な空間をつくる

取り組み▶時代のニーズに対応した公園施設等のリニューアルと適切な保全

▶公園等の安全性の向上とバリアフリー化

▶シンボルとなる公園の魅力向上

▶街路樹により風格あるまちなみづくりや心地よい木陰の確保

整備計画の内容

● 計画の期間

- ▶ 令和2年度～令和6年度(5年間)

● 交付対象

- ▶ 神戸市

● 計画の目標

- ▶ 地域ニーズを汲み上げ機能再編を主とした再整備を行うことにより、地域の子育て支援等に資する都市公園ストックのより一層の活用を目指す。

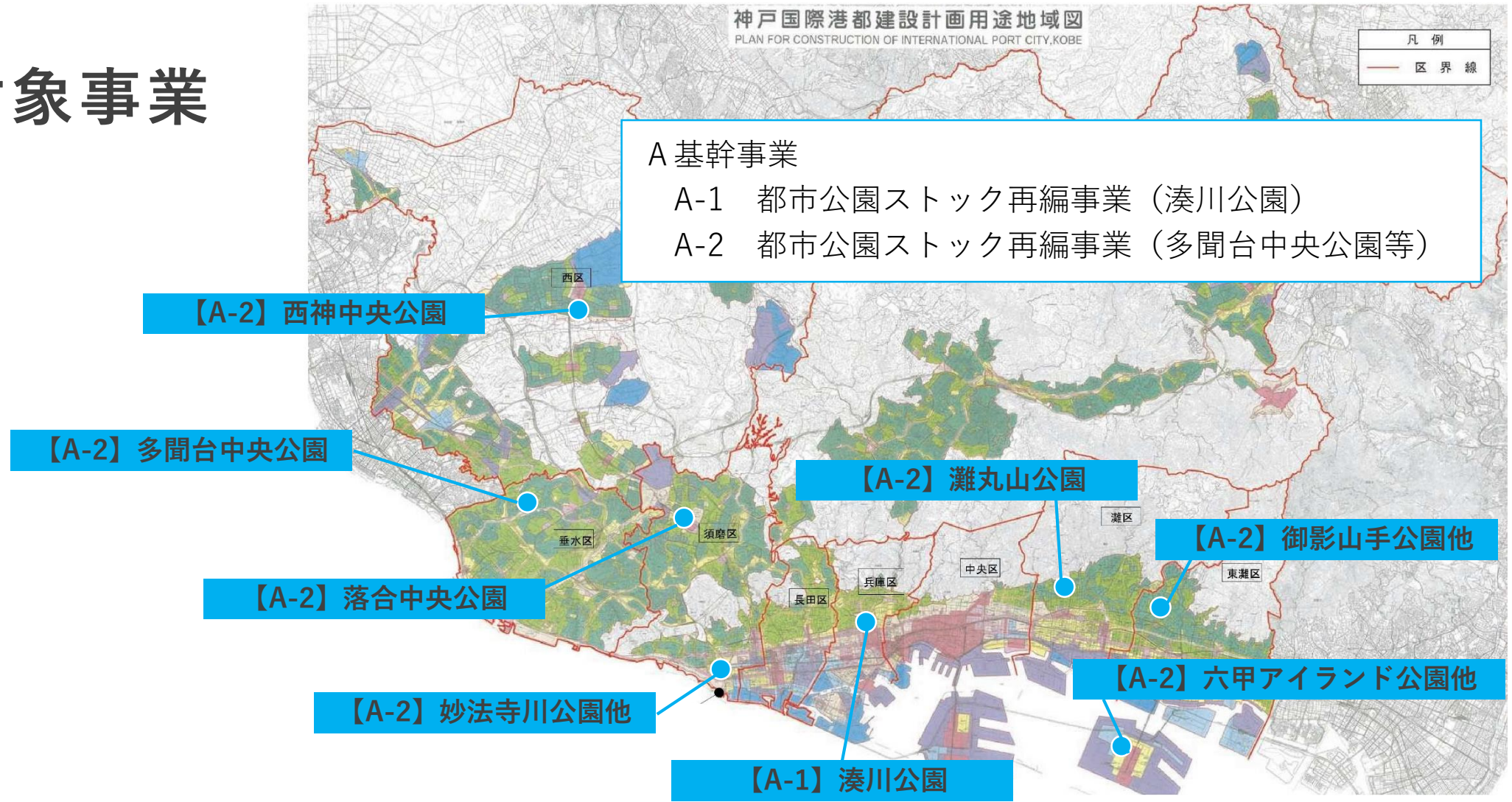
整備計画の内容

● 計画の成果目標(定量的指標)

▶再整備前後の利用者数を調査し、**利用者の増加率10%**を目指す。

= 当初比1.1倍の公園利用者数を目標とする。

交付対象事業



各事業の概要

【A-1】都市公園ストック再編事業(湊川公園)

事業者：神戸市

内容：湊川公園における機能再編を主とした再整備

事業実施期間：令和2年度～令和3年度(事業全体は令和元年度～令和3年度)

全体事業費：253百万円(令和元年度～令和3年度)、99百万円(令和2年度～令和3年度)

【A-2】都市公園ストック再編事業(多聞台中央公園等)

事業者：神戸市

内容：多聞台中央公園等における機能再編を主とした整備等

事業実施期間：令和2年度～令和6年度

全体事業費：229百万円

各事業の概要

【A-1】都市公園ストック再編事業(湊川公園)

● 整備内容

- ▶ 屋根付き遊具広場(ふわふわドーム)、幼児用遊具整備他

● 対象面積

- ▶ 約1.1ha

● 整備状況

- ▶ 隣接する庁舎の改修にあわせ老朽化した施設を撤去し、地域のニーズに即した遊具や健康遊具等を設置した。

各事業の概要

【A-1】 都市公園ストック再編事業（湊川公園）



各事業の概要

【A-2】都市公園ストック再編事業(多聞台中央公園等)

● 対象公園

- ▶ 多聞台中央公園他 6 公園

● 整備内容

- ▶ 多聞台中央公園 | 園路舗装改修、複合遊具 1 基等更新
- ▶ 灘丸山公園 | 駐車場整備、休憩施設整備等 他

● 整備状況

- ▶ 利用が低調でかつ老朽化した施設を撤去し、地域ニーズに即した遊具や広場を整備した。

各事業の概要

【A-2】都市公園ストック再編事業(多聞台中央公園等)



▶再整備後の多聞台中央公園



事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ▶ 湊川公園において、隣接する庁舎の改修にあわせ老朽化した施設を撤去し、地域のニーズに即した遊具や健康遊具等を設置することで、整備前と比較して多くの市民の公園利用を促進した。
- ▶ その他の公園においても、地域のニーズを把握しながら、公園の再整備を実施し、整備前と比較して多くの市民の公園利用を促進した。

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅱ 定量的指標の達成状況

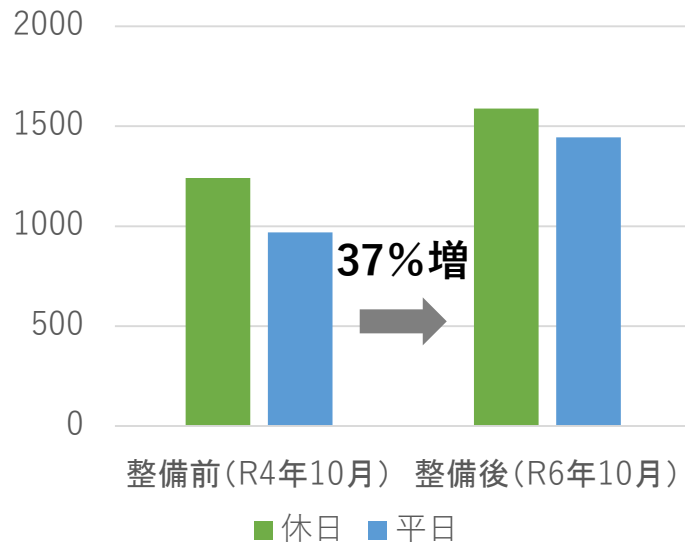
- ▶再整備が完了した湊川公園、多聞台中央公園、灘丸山公園において、再整備前より公園利用者数が30.6%増加した。

（整備前の3公園利用者3,720人 → 整備後の3公園利用者4,859人）

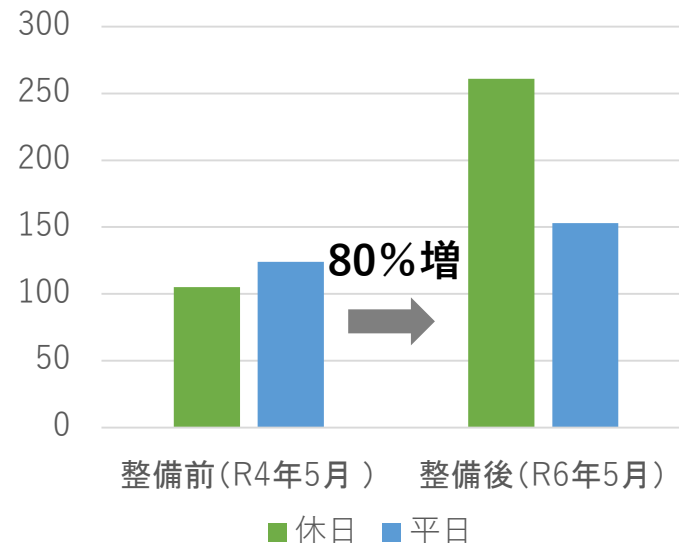
事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅱ 定量的指標の達成状況

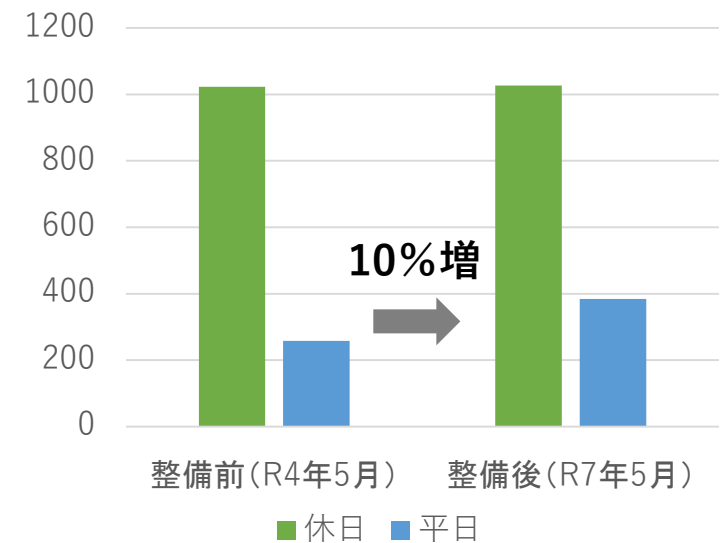
湊川公園



多聞台中央公園



灘丸山公園



【利用者数の調査方法】 ※再整備前後共通

調査日 : 平日、休日 各1日ずつ ※晴天・曇天のみ

時間帯 : 7時～19時

調査方法 : 調査員1名が1時間ごとに園内を巡回し、利用者を目視し、利用状況と人数を記録

※湊川公園はKDDI Location Analyzerによる人流データを利用

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

● 再整備前後の利用実態調査

- ▶ 湊川公園において、設置した遊具（ふわふわドーム）は常に人が集まっている状況であり、午前から昼過ぎは主に未就学児、放課後は小学生を中心に利用されていた。

また、テーブルベンチが並ぶ休憩スペースは、将棋や碁を楽しむ高齢者の交流の場となっており、その多くは日常的に利用されている。

特記事項

- ▶引き続き、社会情勢の変化に伴う地域ニーズを的確にとらえ、より一層地域の住民が利用しやすい公園整備を促進するため、R2～R6の計画期間終了後もKOBEPパークリノベーションに基づき、他の拠点公園についても継続的に事業に取り組んでいく。

- ▶再整備後の灘丸山公園

